

「ヒロノビト」とは... 毎号、広野町との様々な関わりや、町への想いを持って暮らす方にフォーカスし、仕事や私生活のリアルを語っていただくインタビューコーナー。



様々な巡り合わせが重なり、あつと
いう間に移住が進みました

廣野町は、とにかく自然が豊か。
私の印象ですが、福島県北部の地域と
比べても海と山と川が近いので、自然
をより身近に感じられます。厨房の
窓からは、美しい竹林と山々が見える
ので、毎日その景色に癒されています。
お客様は、地元の方々はもちろん、
来られている方々など、様々な方が
いらっしゃいます。また広野町には、
「Jヴィレッジ」や「福島県立ふたば
未来学園中学校・高等学校」もある
ので、全国から人が集まっています。
幅広いジャンルの方々がいらっしゃる
のは、東京で働いていた感じと似て
いるので、すぐに仕事を地域に馴染め
ました。

商業はずっとやりたいと思っていましたし、いざ
は福島県に戻ってきてようと考えていたので、東日本
大震災後は、その思いがより強くなり、双葉郡で
何かできないのかと考えるようになりました。開業
するならやっぱりお弁当屋さんで、国道6号線沿い
にお店を持ちたいと思っていました。周囲に落ち
着いたきれいな町並みがあり、車通りも多そうな
今の店舗は、まさに理想の物件でした。

豊かな自然と優しい皆さんに囲まれて、
毎日楽しく過ごしています



【紀子さん】

広野町はストレスが無いのが良いですね。
まず、余計なものが無い。東京の場合、一つ
のものを購入するにしても、どこの町に
行って、どこのお店に行つて、考へること
が多く、選択肢が少ないのは不便と感じる
人もいらっしゃるでしょうが私は、人混み
も無く、色々考えずに済んで、シンプルで
ストレスが無いのが良いところだと思つて
います。周りの方も、感じの良い方ばかり
です。皆さん、ただ買い物をして帰るの
ではなく、色々と話をして様々な情報を
教えてくださるので、毎日とても楽しい
時間を過ごしています。

惣菜弁当 KIYA
姥原 宏行さん・紀子さん

福島県相馬市出身。東京都世田谷区の惣菜・
弁当店で、25年間店長として勤務。東日本大
震災を機に、大きな被害を受けた双葉郡にて
復興の手助けをしたいとの思いから、2023年
2月、家族で広野町に移住。国道6号線沿いに
弁当・惣菜の店「KIYA」をオープン。



手作りのお弁当やお惣菜で

皆さんに喜んでいただける
お店を目指しています！

【宏行さん】

弁当屋さんには、小さなお子様から
ご年配の方まで、老若男女問わず
色々方が来店します。だからずっとお弁当
屋さんをやりたいと思つていました。忙しい
主婦の方、栄養バランスや野菜不足が
心配な方など、大したことはできませんが、
手作りができると、皆さんのお役に
立ちたいという思いもありました。お店で
は、好きなものを欲しいだけ購入できる
量り売りと、メイン2種類・副菜4種類を
選んでカスタマイズ弁当を作れる「おか
ずセット」などを用意しており、誰もが美味
しいと感じていただけるような味付けと、
手作りにこだわっています。「KIYA」は、「
喜家」。お店は未だ発展途上で、やり
たいこと全てを出来ている訳ではない
のですが、皆さんに喜んでいただけるよう
なお店を目指し、頑張つていきたいです。

復興の手助けをしたい